

※一般質問の内容は、議員自身が9月定例会議事録に基づき記述しています。



さいとう かずふみ
齋藤 和文
(公明会)

防災訓練と防災教育について

問 小学生、中学生、高校生の防災訓練参加について。

部長 地域の自主防災会には年2回の防災訓練実施依頼と計画書の提出をお願いしており、児童生徒が参加しやすい訓練を呼びかけている。日時や場所については、各学校に送付している。市では日頃より出前講座などの防災教育に取り組んでいる。災害に対する危機感と自助共助を、訓練を通して体験してもらう場と考えている。

教育長 災害はいつ起こるか分からないので、小学生のうちから自他の命を守るための適切な判断、実行する力をつける重要性、学校内で学習の時間に行う防災教育と防災訓練を関連付けることで、児童生徒が必要感を持って参加できるよう、引き続き呼びかけを行う。

問 国や県の出前講座や資料を使った防災教育を行う市内の学校はあるのか。

教育長 富士山噴火のハザードマップも出来たことで、噴火についていつかは取り組まないといけない。今後は富士砂防事務所への協力依頼は可能であり、学校の需要もあると考える。

岩手県山田町との関係強化について

問 市内イベント時に、山田町の物産コーナーを招致できないか。

副市長 まつりや多くのマルシェの計画があるので、市として集う仕掛けをつなぎ合わせ、企画していきたい。

市長 いろんな方々と相談して、物産展を中心に積極的に前向きに取り組んでいきたい。

コウノトリの飛来について

問 飛来した時の対応について(市民・行政)。

部長 飛来し目撃した時には近づかず静かに見守っていただきたい。今後飛来、営巣した場合は、コウノトリの郷公園などの専門機関に保護の方向性も含め相談しながら進めていく。



あかいけ ひろもと
赤池 弘源
(明和)

西臼塚遊歩道整備について

問 富士山自然休養林保護管理協会では、西臼塚周辺において枯損木の伐採実績があまりないように思うが、なぜこのような危険な状態にしたままなのか。

部長 しっかり県のほうで予算を取っていただいた中で対処してもらえるように、改めて申し入れのほうをしていきたい。

問 すっかり姿を変えてしまった、富士山山腹の自然環境にふるさと納税は使えないのか。

部長 個人からもらうふるさと納税については直接的にここにあてることはできない。企業版ふるさと納税については、国・県の下解があれば、メニューの1つとして企業に募集するのも1つの方法と考える。

市長 もう一度白糸の滝や浅間大社の周辺を

整備したように思い切って、中途半端な整備でなくてやり直して、がっちりと整備をしていく必要がある。



▲西臼塚山頂付近



▲2番掘

万野二番掘及び三番掘の暗渠工事について

問 2番掘の登山道より東側の一般道万野原新田64号線の最小幅員は、4.2メートルとなっており、車両のすれ違いが困難な狭隘箇所となっていることから、平成22年6月に該当箇所の暗渠化が事業化されたが、地元から賛成が取れなかったと聞いている。あれから10年以上たっているわけだが、もし地元の意見が取りつけられたらやってもらえるか。

部長 一度事業化したものなので、賛成が得られれば事業化は可能である。